

建設内容

昭和十九年十二月七日、東南海地震津波により六十四名の尊い生命を失った、あの悲しい出来事から五十三年を経た。

多くの犠牲を払われた先人達の教訓から、平成七年に、町を挙げての防災対策実行委員会を組織し、国並びに三重県の多大なる助力をいただき、町内各所に緊急避難階段が確保された。

特に、この地は奥川が湾曲して取り囲み、往時の人々が逃げ惑う激地であった。

今は、子供たちの通学路、生活主要道路が走り、又、周辺に高台もなく、避難所、地域の集会の場として、多目的に活用されると共に、災害もなく町民の心安らぐ場としての役割を果たせればとの願いをこめ、ここに建設する。

平成十年（一九九八年）建立

所在地	三重県度会郡大紀町錦 354 番地の 1		
建築面積	111.77m ²		
延床面積（規模）	1 階	消防倉庫 便所（男性、女性、障害者用）	100.14m ²
	2 階	集会所（24 畳、フローリング）	81.05m ²
	3 階	防災資料館	65.45m ²
	4 階	避難所（救護室）	46.82m ²
	5 階	避難所スペース（展望所）	26.01m ²
	総面積		319.47m ²
収容可能人員	約 500 名		
構造	鉄筋コンクリート造 5 階建		
事業費	138,548 千円		
事業期間	平成 9 年度～平成 10 年度		
設計監理	株式会社 伊藤建築設計事務所		
施工	建築工事	日本土建株式会社	
	外構工事	有限会社 梅村組	



施設のあらまし



東南海地震

塩浜山村広場展望台からの眺め

各階施設



4F

避難所



3F

防災資料館



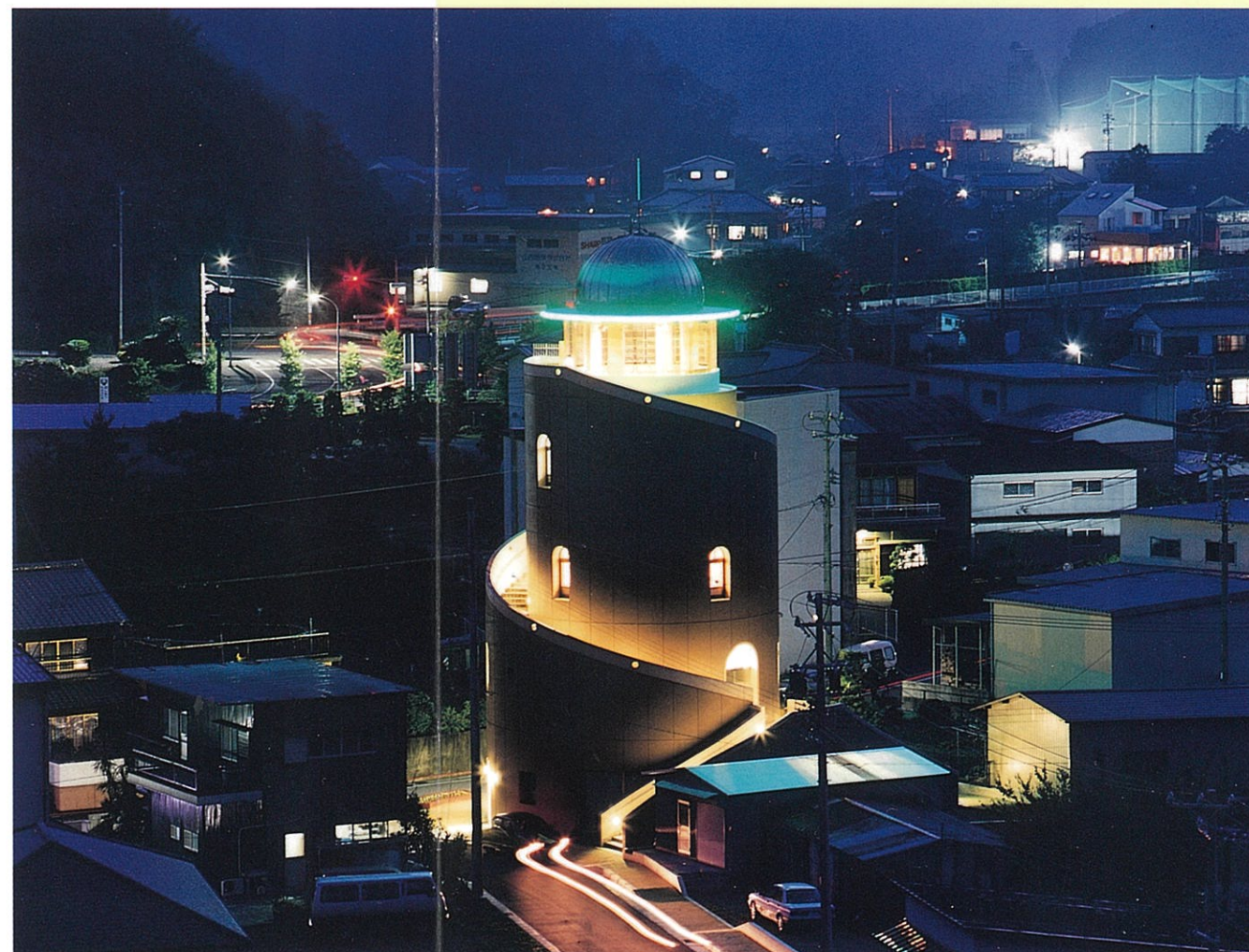
2F

集会所



1F

消防倉庫



錦タワー夜景